

川田テクノロジーズ株式会社(3443) 2016年3月期決算説明会

2016年5月31日



会社概要

企業名	川田テクノロジー株式会社 (KAWADA TECHNOLOGIES, INC.)
証券コード	3443
事業内容	鋼製・PC橋梁及び建設鉄骨の設計・制作・架設・据付、一般建築・システム建築、土木建設関連ソフトウェア開発を営むグループ企業の経営計画・管理並びにそれらの附帯する業務
代表者	代表取締役社長 川田 忠裕
住所	【富山本社】 富山県南砺市苗島4610番地
設立年月日	2009年2月
上場市場	東証1部
決算期	3月
資本金	5,000百万円
従業員数	50名(連結 2,165名) ※2016年3月31日現在

グループ理念

安心で快適な生活環境の創造

グループ行動指針

独創自立
高い品質と顧客満足
マーケット志向とグローバルイノベーション
コンプライアンス
環境保全



グループ企業紹介

KAWADA
INDUSTRIES, INC.

川田工業株式会社



株式会社橋梁メンテナンス

KAWADA
CONSTRUCTION CO.,LTD.

川田建設株式会社

KTS

川田テクノシステム株式会社

CIVIL ENGINEERING CONSTRUCTION BUSINESS

KTI KAWADA technologies

STEEL STRUCTURE BUSINESS



富士前鋼業株式会社

KAWADA
Robotics

カワダロボティクス株式会社

IT SERVICE BUSINESS

NCA

新中央航空株式会社



東邦航空株式会社

※佐藤工業株式会社
(持分法適用会社)

セグメント	主な事業内容	主要な会社および主な製品
鉄 構	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鋼製橋梁(鋼橋)及び建築鉄骨の設計・製作・架設据付、鋼材製品の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川田工業 ■ 富士前鋼業  
土 木	<ul style="list-style-type: none"> ■ PC橋梁、プレキャスト製品の設計・製作・架設据付及び橋梁保全工事請負 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川田建設  
建 築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般建築及びシステム建築の設計・工事請負 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川田工業  
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種機械装置、コンピューターシステム、ソフトウェアの開発・設計・販売及びコンサルティング ■ ソフトウェアの開発・販売及びシステム機器の販売、橋梁等の構造解析及び設計・製図 ■ 橋梁付属物の販売 ■ 航空機使用事業 ■ 次世代型産業用ロボット等の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 川田テクノシステム ■ 橋梁メンテナンス ■ 東邦航空 ■ 新中央航空 ■ カワダロボティクス    



16 / 3 期の業績と 17 / 3 期の見込



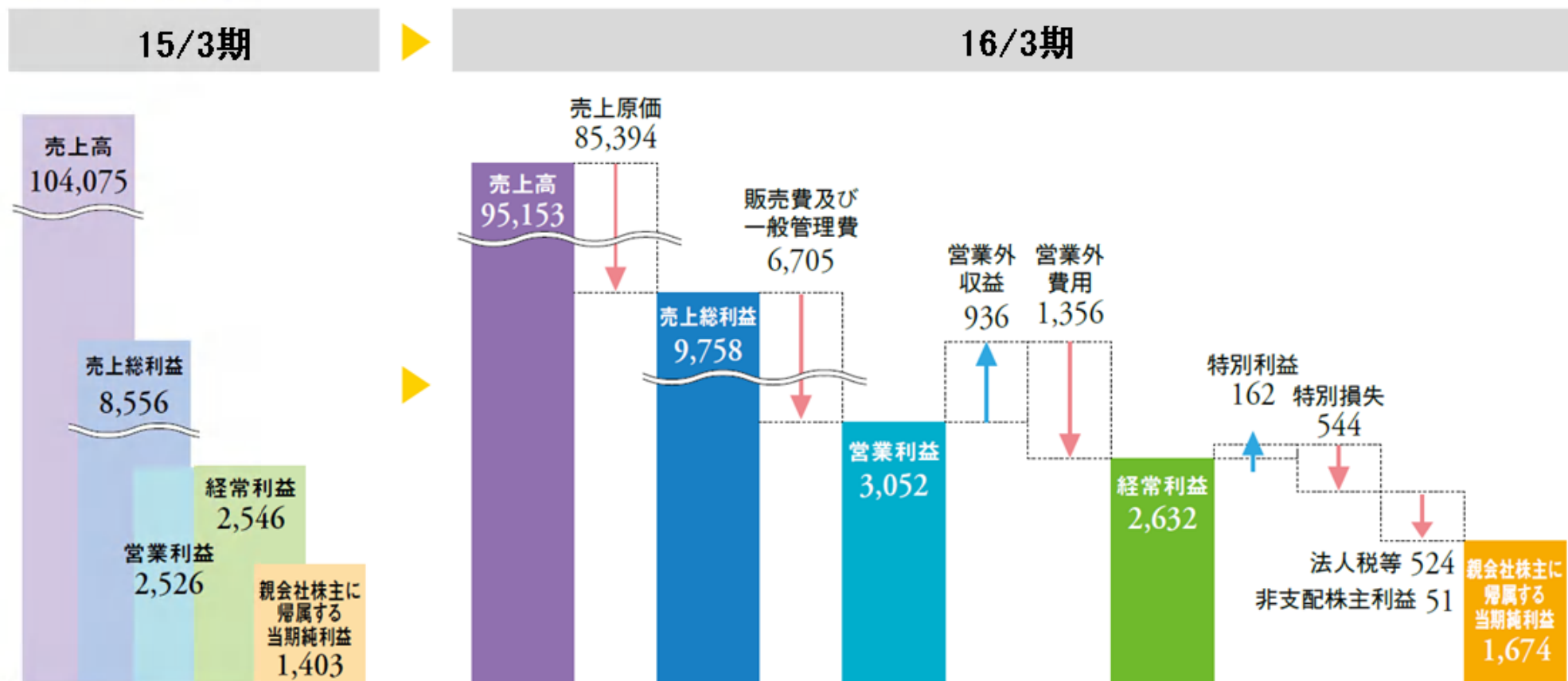


16/3期の業績と17/3期の見込

(百万円)	15/3	16/3		17/3	
	実績	実績	前年比	見込	前年比
受注高	110,594	121,589	9.9%増	108,000	11.2%減
売上高	104,075	95,153	8.6%減	105,000	10.3%増
売上原価	95,519	85,394	10.6%減	95,200	11.5%増
売上総利益	8,556	9,758	14.0%増	9,800	0.4%増
販管費	6,029	6,705	11.2%増	7,000	4.4%増
営業利益	2,526	3,052	20.8%増	2,800	8.3%減
経常利益	2,546	2,632	3.4%増	2,500	5.0%減
当期純利益	1,403	1,674	19.3%増	2,000	19.4%増



16/3期の利益の要因分析

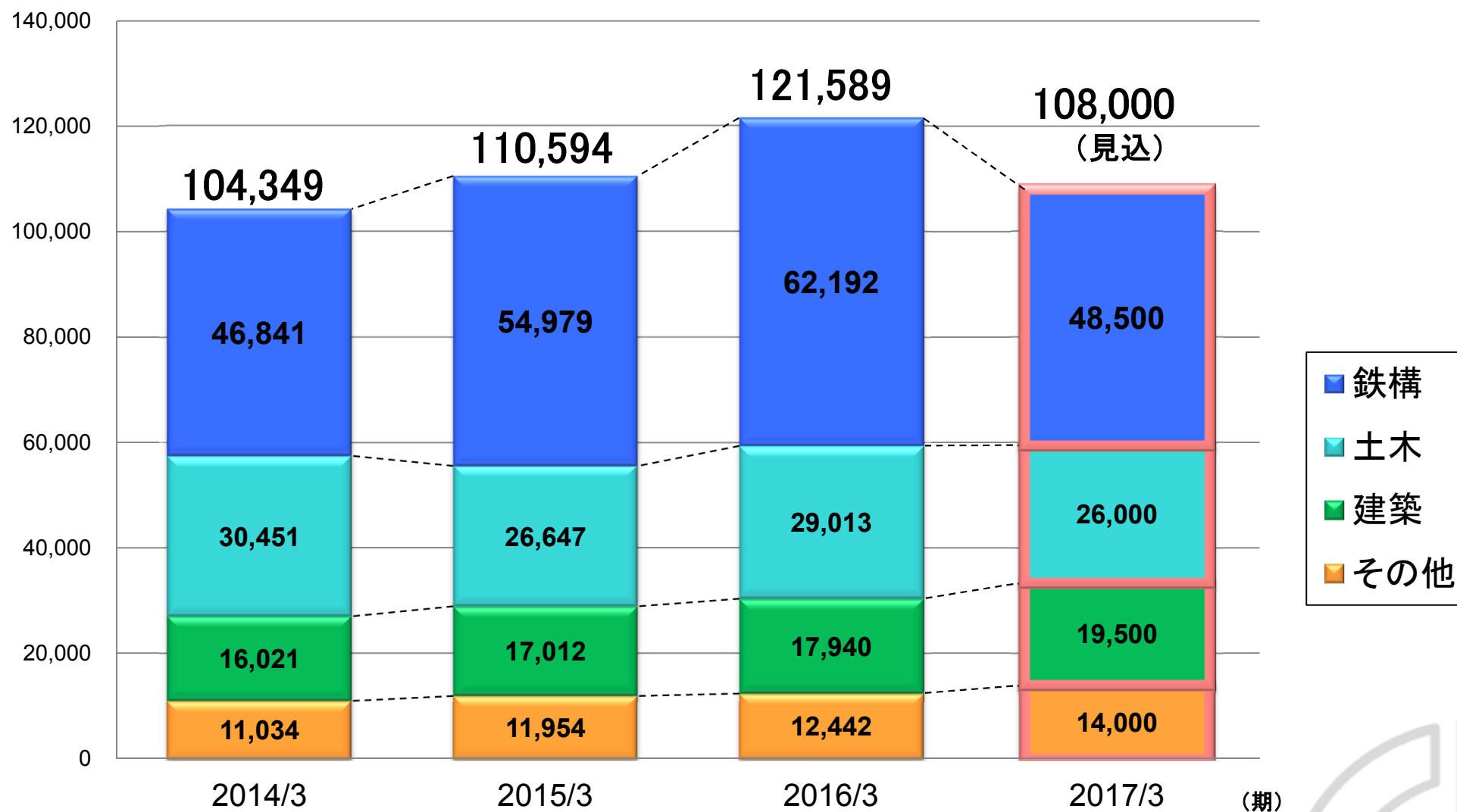


【重点事項】

- ・利益率の改善（約2%の原価率の改善）
- ・販売管理費及び一般管理費の増加（研究開発費の増加）
- ・持分法による投資利益の減少
- ・特別損失の計上（栃木県芳賀の土地、および大阪支社の減損損失計上）

(百万円)

受注高 推移



※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

セグメント 名称 (百万円)	15/3	16/3		
	繰越高	繰越高	増減額	前年比
鉄 構	55,535	75,280	+19,745	+35.6%増
土 木	28,484	32,802	+4,317	+15.2%増
建 築	11,480	11,857	+377	+3.3%増
その他	1,193	1,507	+314	+26.4%増
合 計	96,693	121,448	+24,754	+25.6%増

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。



売上高と営業利益（セグメント別）

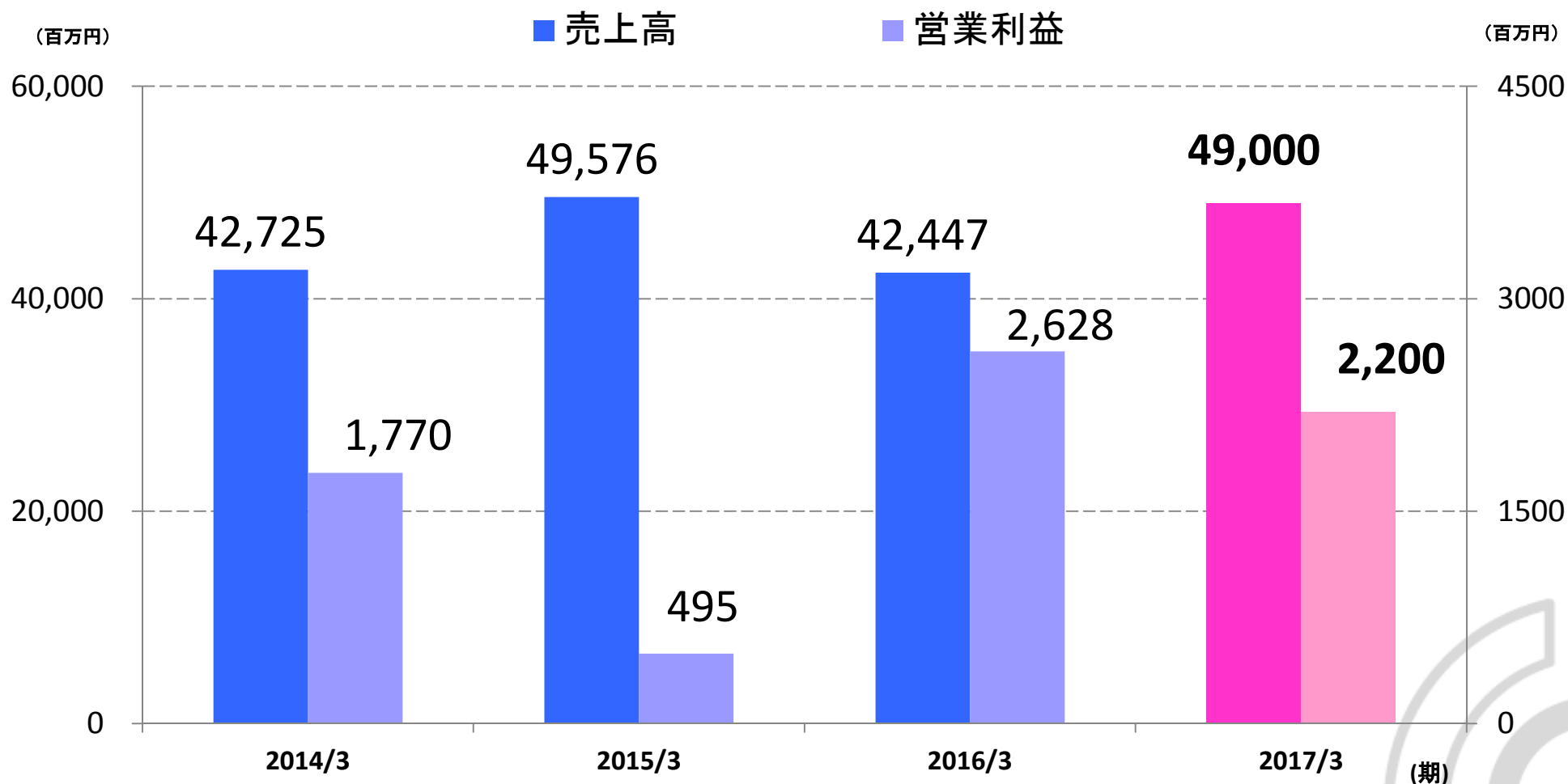
セグメント		15/3期 実績	16/3期 実績	17/3期		
				見込	増減額	前年比
売上高	鉄 構	49,576	42,447	49,000	+6,553	15.4%増
	土 木	27,114	24,696	29,000	+4,304	17.4%増
	建 築	16,992	17,562	17,000	▲562	3.2%減
	その他	11,919	12,128	11,500	▲628	5.2%減
営業利益	鉄 構	495	2,628	2,200	▲428	16.3%減
	土 木	971	258	330	+72	27.9%増
	建 築	1,670	1,615	1,270	▲345	21.4%減
	その他	838	81	440	+359	443.2%増

鉄構セグメント

17/3期の見込

売上高
営業利益

49,000百万円
2,200百万円

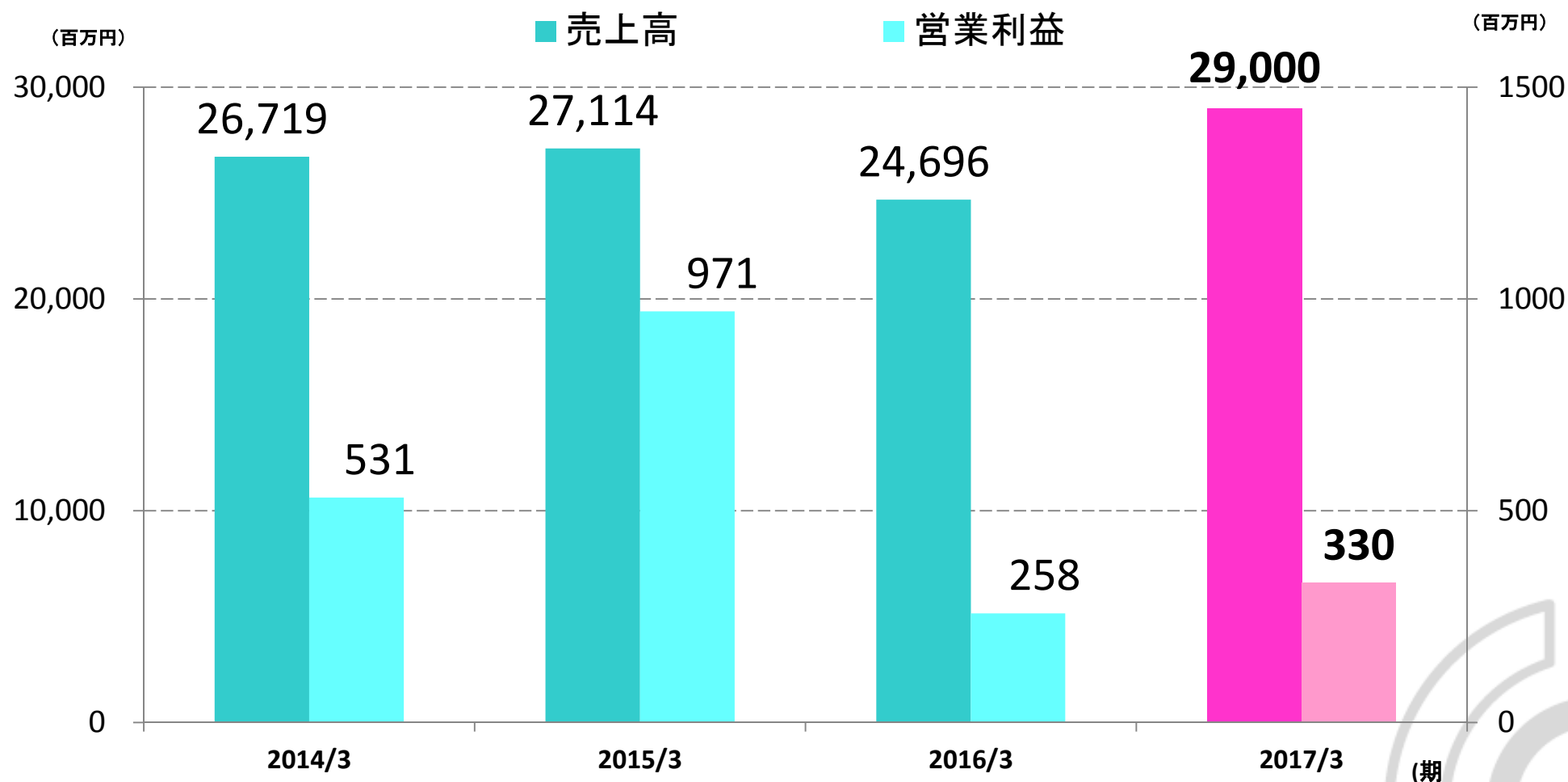


土木セグメント

17/3期の見込

売上高
営業利益

29,000百万円
330百万円

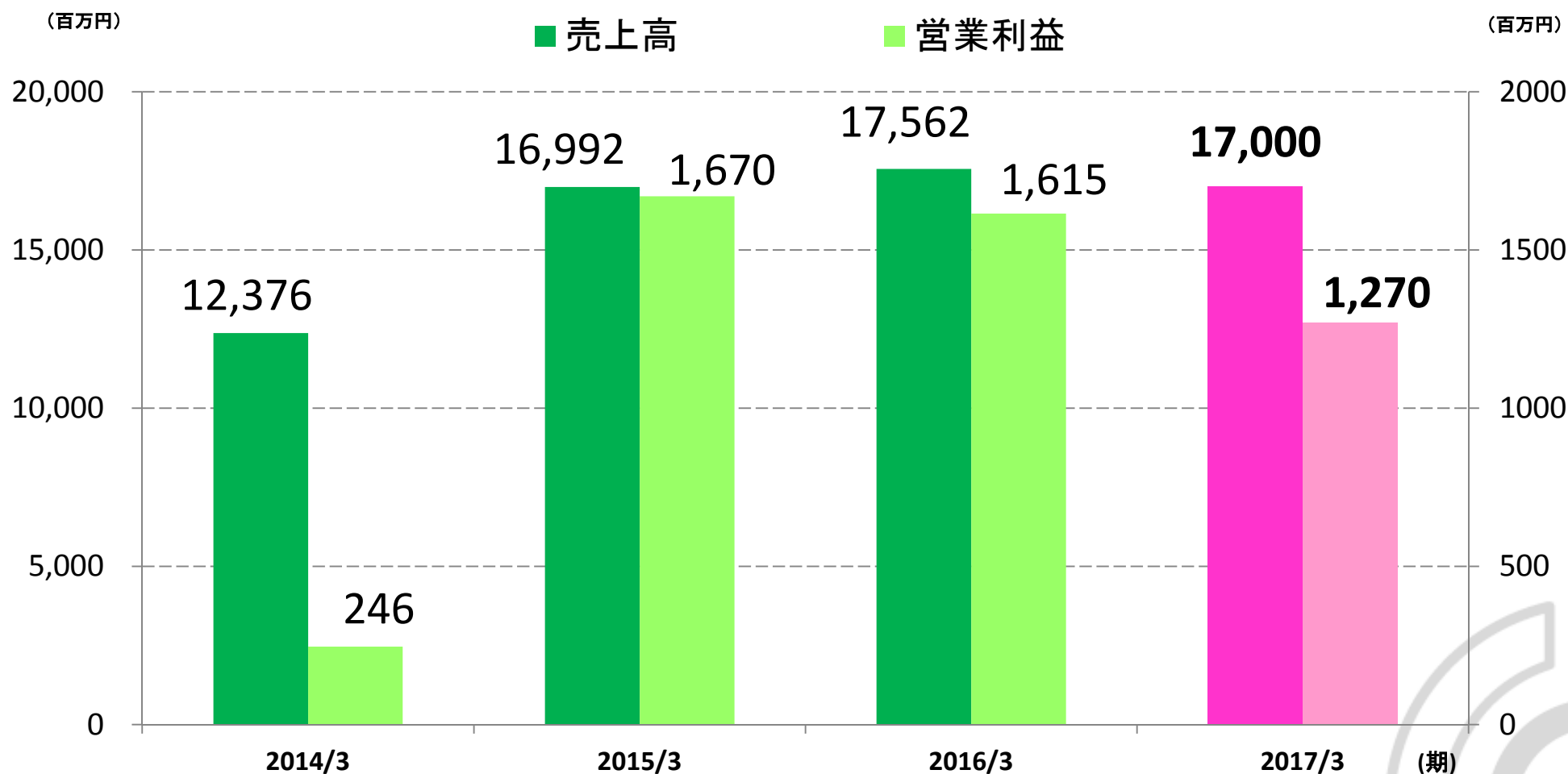


建築セグメント

17/3期の見込

売上高
営業利益

17,000百万円
1,270百万円

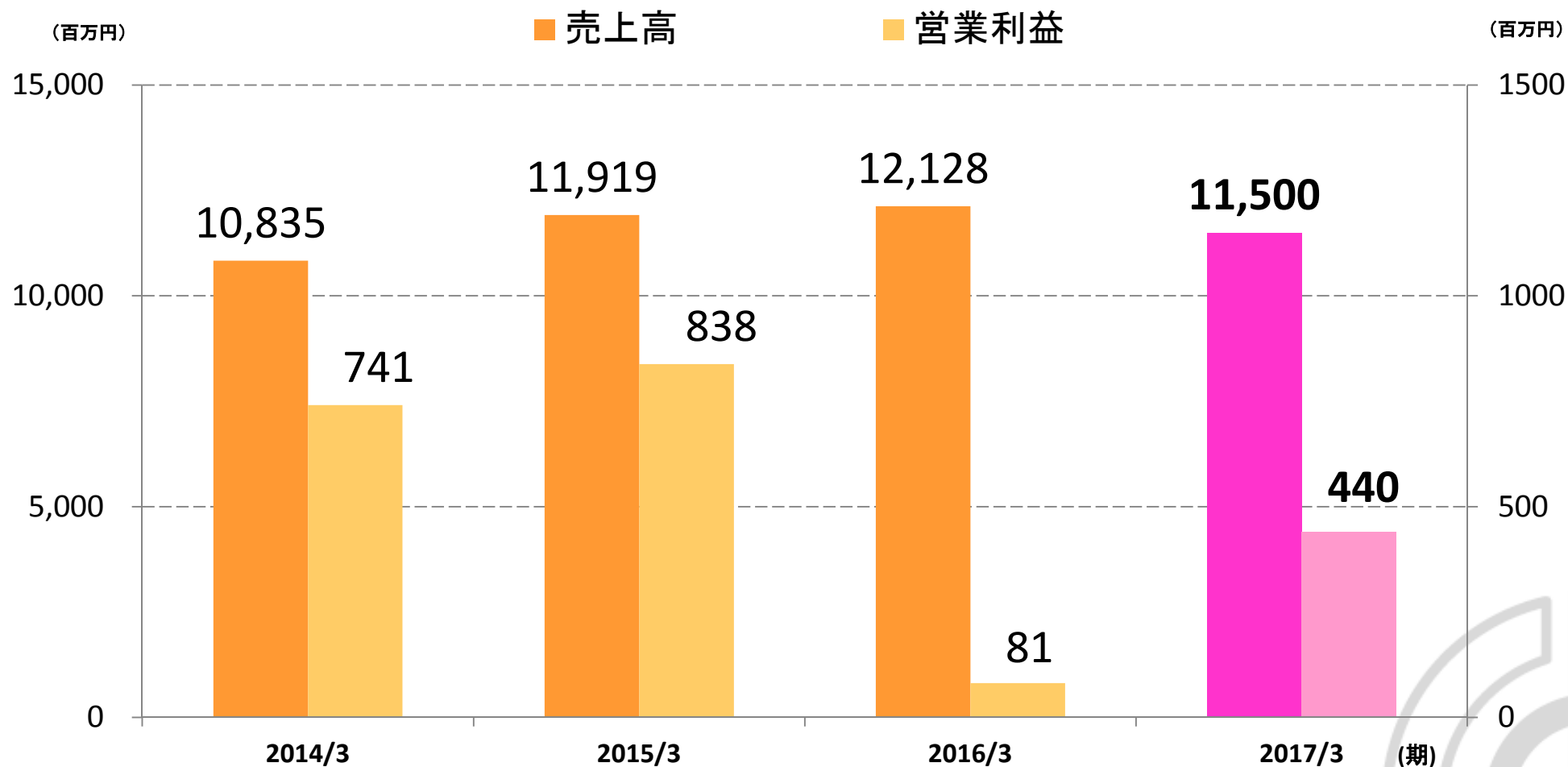


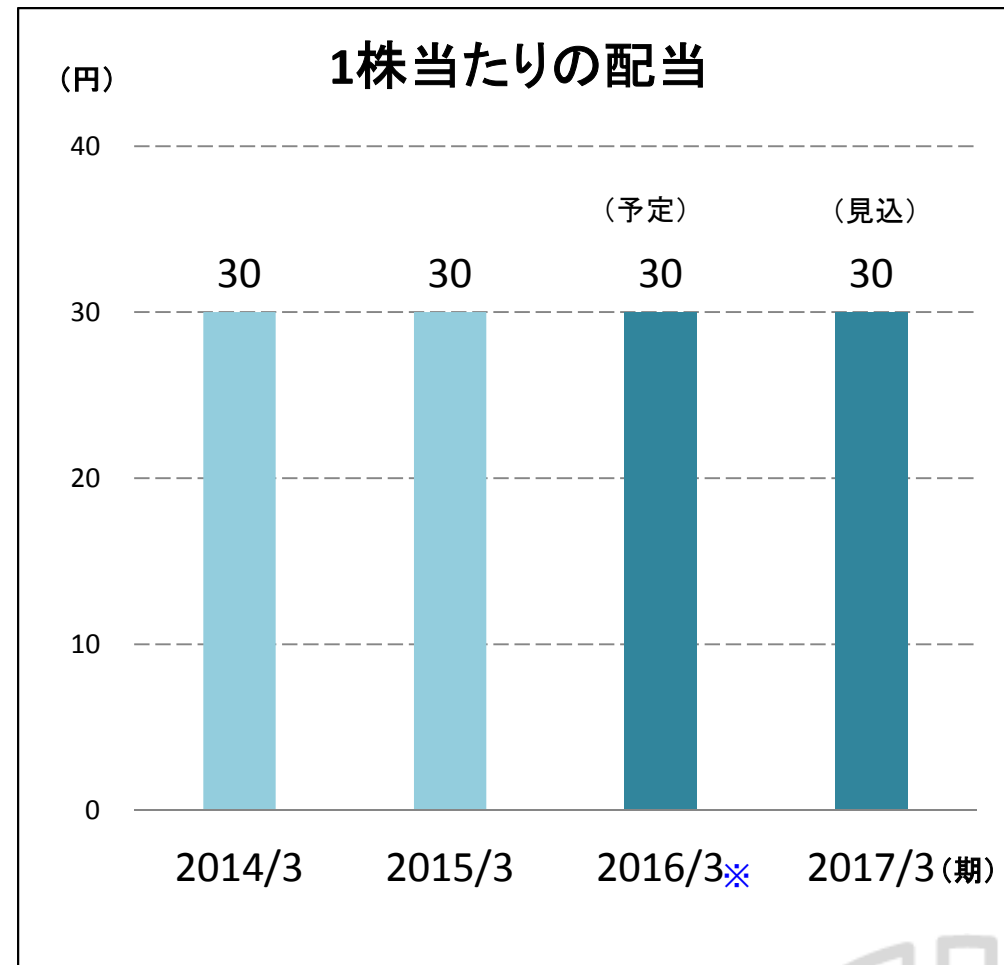
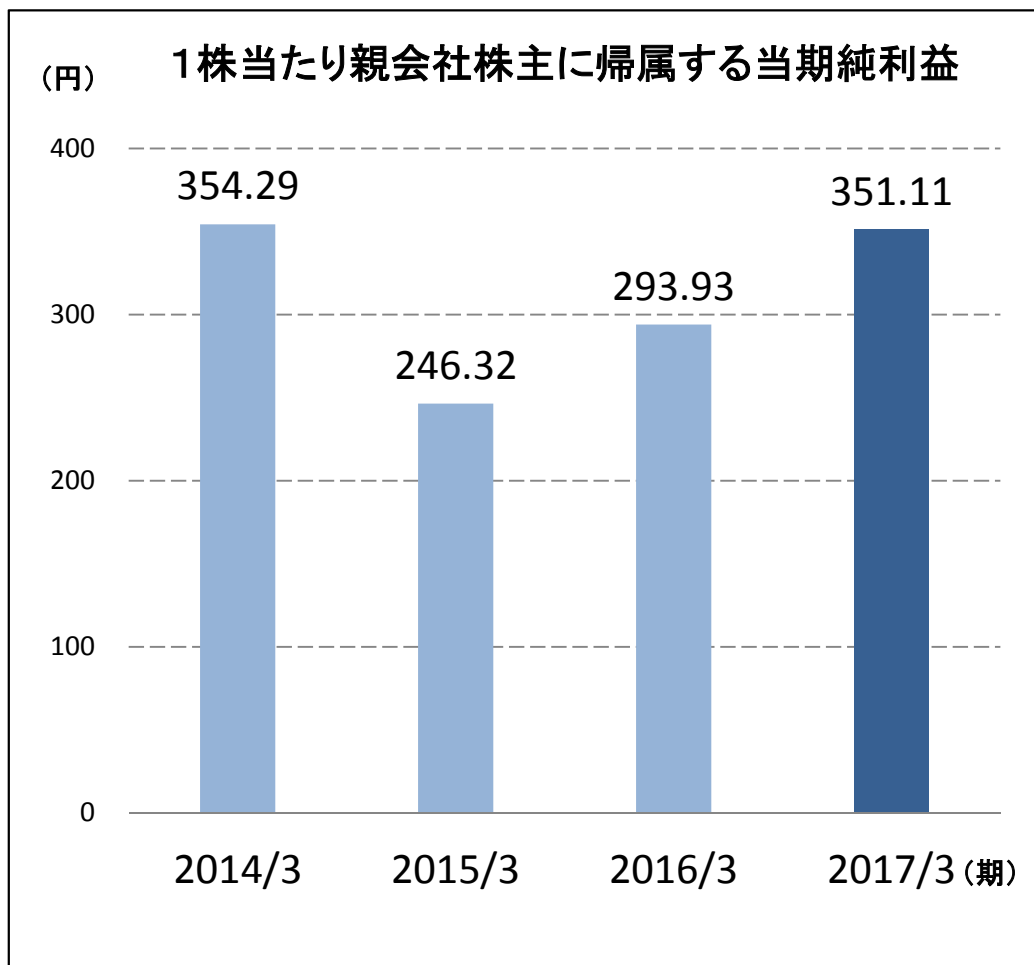
その他

17/3期の見込

売上高
営業利益

11,500百万円
440百万円





※期末配当につきましては、2016年6月29日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。



今後の取り組み





全てのステークホルダにとっての
企業価値向上を目指します。

» 成長エンジン

新市場の開拓

新分野へのチャレンジ

飽くなき技術革新

成長事業への
チャレンジ!

川田グループの
目指すべき姿

- ◆既存事業における収益率の向上を図る
- ◆事業領域の拡大による収益源の多角化を図る
- ◆社員一人ひとりが誇りを持てる企業を目指す

収益率を高めるための受注力、設計力、生産力、現場力、開発力、提案力の追求

主な取り組み

震災復興

東京オリンピック・パラリンピック対応

i-Construction

インフラ補修・保全

ロボットビジネス

環境・防災/減災ビジネス



建設業界を 取り巻く課題

- ・人手不足
- ・品質確保
- ・安全確保
- ・環境問題
- ・海外競争力確保



国の施策

(2015/11/24 国交省発表)

i-Constructionによる生産性の向上

- ① ICT技術の全面的な活用
- ② 規格の標準化
- ③ 施工時期の平準化

プロセス全体の最適化



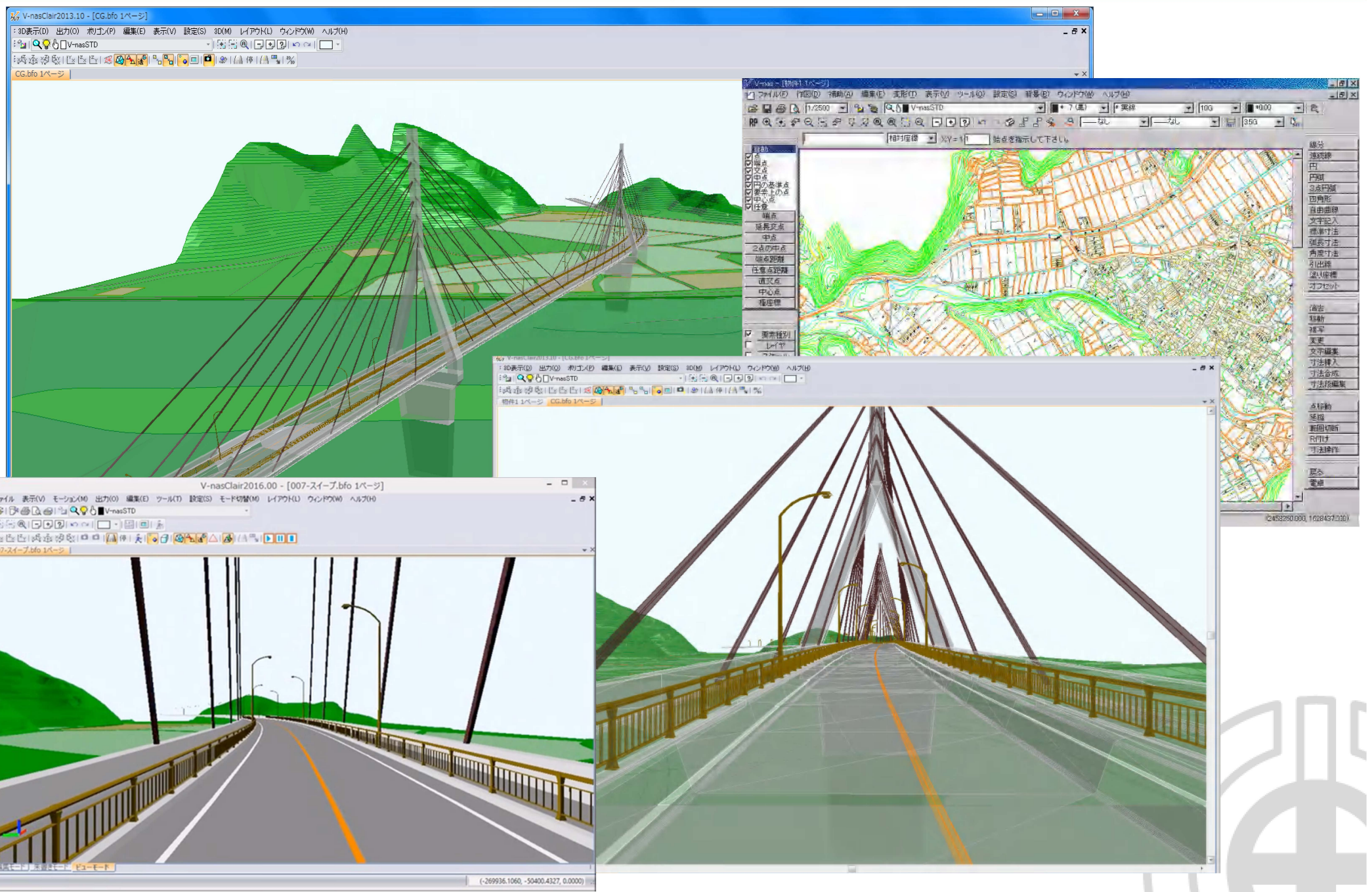
ICT・ロボット技術によるサポート

国の施策の意図を汲んだ
川田版i-Constructionの実現

- ・ 労働力不足への備え
- ・ 安全な労働環境の確保

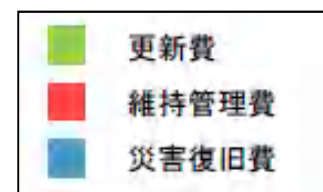
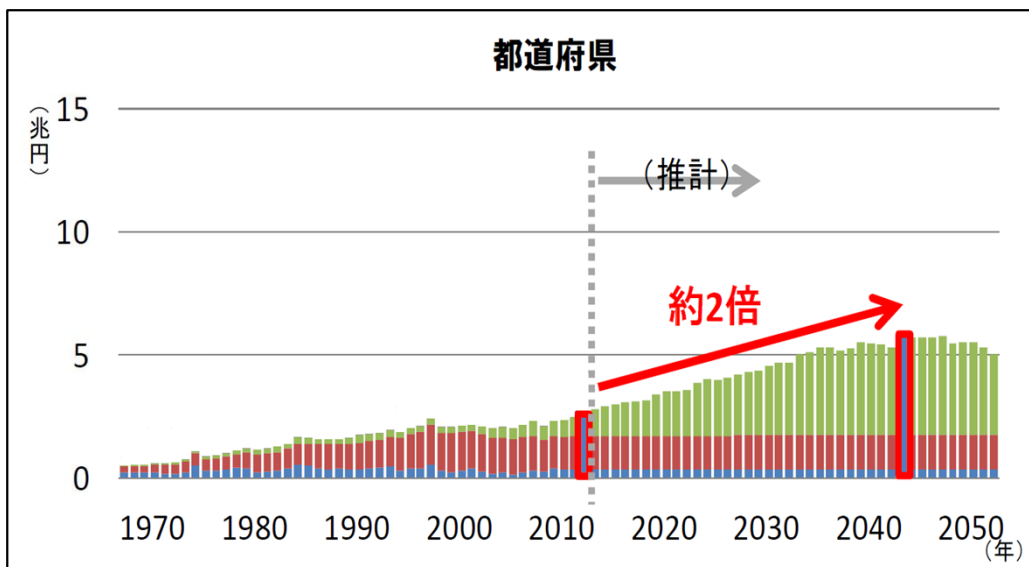
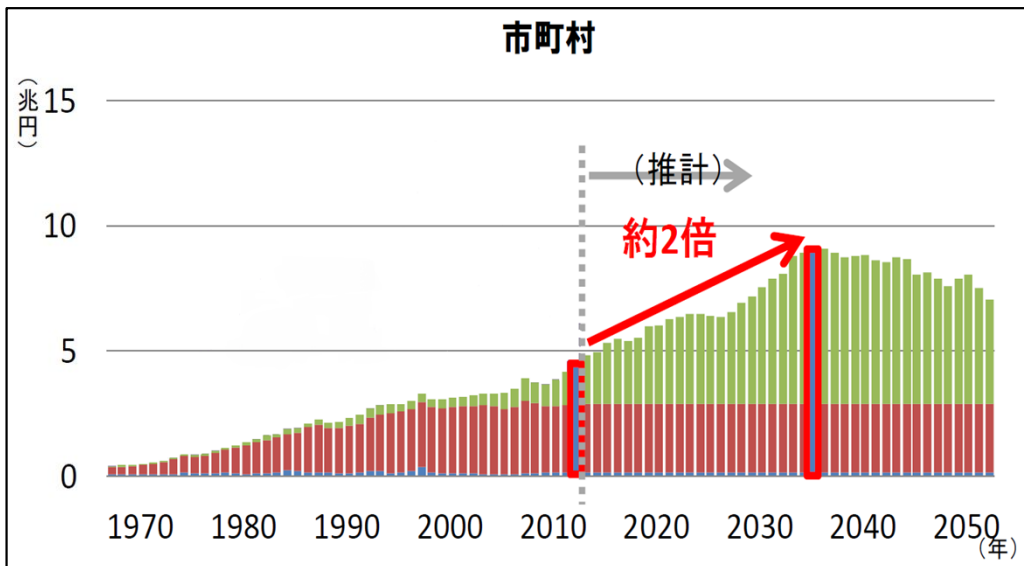
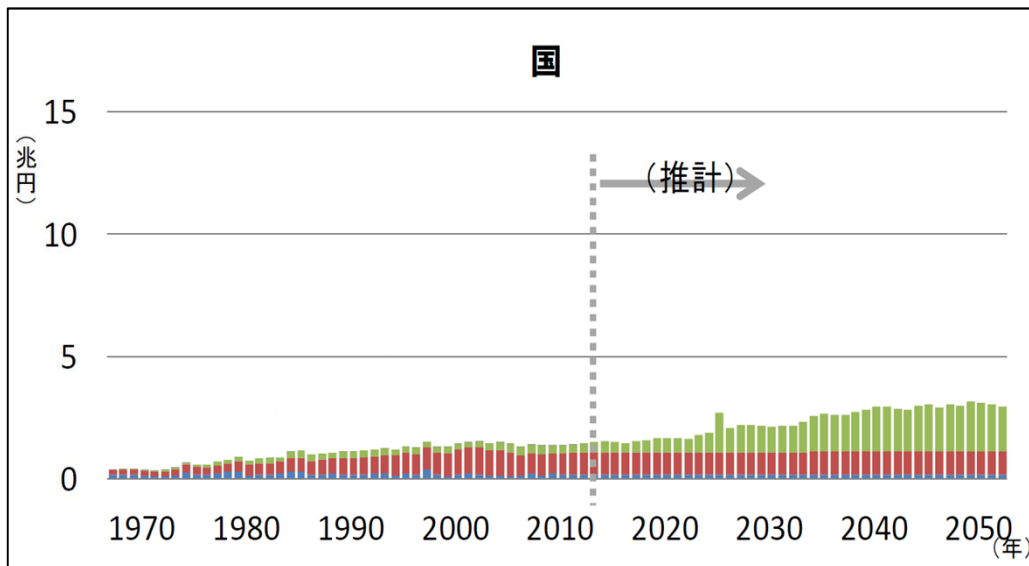


3D CAD V-nas Clair





業界の長期展望 維持管理・更新費の増加



※国土審議会政策部会長期展望委員会
「国土の長期展望」中間とりまとめ
3. 国土構造分野(1)国土基盤ストック

図Ⅲ-14参照

～巨大市場の開幕～ 数兆円の床版工事に注目

東日本、中日本、西日本高速道路会社
【大規模更新】

RC床版の取り替え : **224km** (約1000橋)
【大規模修繕】

高性能床版防水など : **359km** (約5000橋)

**約1兆
8000億円**
(大規模更新・
修繕費の60%)

※日経コンストラクション

2015/04/13号

30～33ページより参照

国土交通省(既設橋)

【速やかな補修が必要な橋梁数】

RC床版の補修: 約**2100**橋

鋼床版の補修 : **370**橋

国土交通省東北地方整備局
(復興道路)

床版の新設: 約**14**km

首都高速道路会社
【大規模更新】

**約3000
億円**
(大規模更新・
修繕費の40%)

RC床版の取り替え : **1.5**km

【大規模修繕】

鋼床版の補修など : **55**km

※大規模更新の対象延長や費用のうち、1号羽田線の架け替えは含んでいない。

本州四国連絡高速道路会社
【大規模修繕】

高性能床版防水、脱塩など: 約**10**km

約90億円
(大規模修繕費
の40%)

阪神高速道路会社
【大規模更新】

RC床版の取り替え : **3.1**km (約**100**径間)

【大規模修繕】

RC床版の補修など約**1100**径間

鋼床版の補修など 約**300**径間

約1500億円
(大規模更新・
修繕費の40%)



インフラ補修・保全への取り組み

桁のFRP補修・強化



桁のFRP補修・強化



鋼床版補修



コンクリート床版点検



伸縮装置の取替工事

川田建設:土木セグメント

明治山橋床版取替工事:沖縄自動車道(沖縄県国頭郡)





二足歩行ヒューマノイドロボット HRPシリーズ:カワダロボティクス

1999—2002



1999年

H6



2000年

H7



2001年

isamu



2002年

HRP-2P



2002年

HRP-2

2003—2010



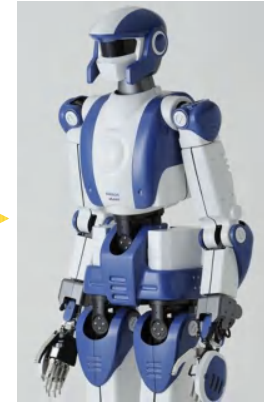
2005年

HRP-3P



2008年

HRP-3



2010年

HRP-4



2009年

HIRO



2009年

NEXTAGE

2011—



2011年

**NEXTAGE
&
NX OPEN**

市場ニーズを先取りした
ロボット開発と、スピーディで
質の高いエンジニアリング
サービスの提供

KAWADA
Robotics

NEXTAGE
の
販売戦略

Hitachi High-Tech

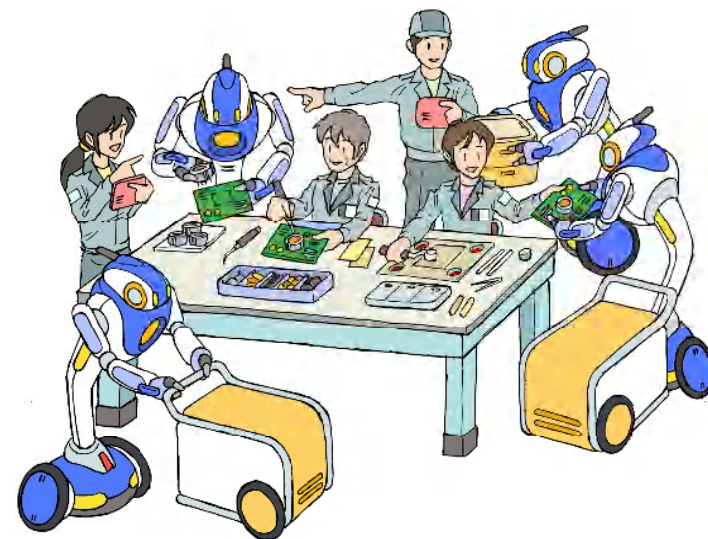
グローバルネットワークとソーシング力

THK
INTECHS

周辺機器インテグレーション

ロボティクス事業の統合

- 2015年10月1日を効力発生日として川田工業のロボティクス事業部を会社分割により、カワダロボティクスへ承継



安倍首相 納入先企業を視察(2014.6)
※首相官邸ホームページ(<http://www.kantei.go.jp/>)より引用

カワダロボティクス：
次世代産業用ロボット NEXTAGE(ネクステージ/NX OPEN)





免責事項

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。